

文部科学
大臣賞文教施設等
分野大学研修施設（大規模実橋モデル）を活用した
『臨床型』の橋梁維持管理技術者育成

取組概要

実際に長期間使用された多種多様な変状を持つ撤去された道路橋梁の部材や劣化部位・付属物を集めて再構築した大規模実橋モデルであるニュー・ブリッジを活用し、様々な劣化事象に対して直接向き合ういわゆる、臨床型のプログラムに基づく橋梁維持管理技術者育成活動を継続・実践している。活動は、産官学連携による「橋梁保全技術研修協議会」等の協力のもと臨床型研修プログラムを開発し、行政機関や民間企業等の技術者を幅広く受け入れ、長期的視点からの継続運用により、国内のみならずグローバルに活躍できる技術者の学びの場を実現する取組である。

受賞理由

笹子トンネル天井板落下事故以前からの取組であり、大学内に橋梁維持管理研修施設を構築し、当施設を一般公開するなど、産官学の技術開発フィールドの提供を積極的に行っていること、地域特有の『オーダーメイド研修』や、幅広い世代が対象の維持管理技術の教育を継続的に実施していることなど、社会的な意義や影響が高い点について評価された。

取組のポイント

臨床型橋梁維持管理技術者養成施設である「N2U-BRIDGE（ニュー・ブリッジ）」は、橋梁形式毎に多種多様な変状（劣化・損傷パターン）を有する実際に長期間使用されていた橋梁上部工部材を新たに構築した橋脚・橋台上に設置することで、橋梁点検現場で遭遇する一般的な橋梁架設状況（橋梁桁下空間 高さ約5m）を再現し、近接目視・遠望目視点検もできるように工夫した、世界で初めて大学内に構築された維持管理研修施設である。また、中部地域の産官学連携による組織「橋梁保全技術研修協議会」の協力のもと、臨床型橋梁維持管理技術者養成プログラムに基づく研修や一般公開・利用を積極的に実施し、日本の社会インフラメンテナンスを支える研修施設として活動している。

受賞者について



受賞者

国立大学法人 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
教授 中村 光
教授 館石 和雄
国立大学法人 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
橋梁長寿命化推進室 今村 博

コメント

文部科学大臣賞という名誉ある賞をいただき、大変嬉しく思います。この受賞を励みに今後も『臨床型』の橋梁維持管理技術者育成における様々な課題に取り組み、橋梁の設計・施工に関する基本的知識を持ち、様々な劣化事象に対して橋梁と直接向き合いながら、適切に点検・診断・評価を行える人材を育成していきたいと考えています。

団体概要

名古屋大学橋梁長寿命化推進室は、実際に長期間使用された多種多様な変状を持つ撤去された道路橋梁の部材や劣化部位・付属物を集めて再構築した大規模実橋モデル「ニュー・ブリッジ」を活用し、『臨床型』の橋梁維持管理技術者育成プログラムに基づく研修を通じて、インフラメンテナンスを担う技術者を継続して育成します。

問い合わせ先

国立大学法人 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
橋梁長寿命化推進室 今村 博
052-789-3726 N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp